

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

所管課				都市整備課				担当班	街路公園班
事務事業名	コード	31200	公園維持管理費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
					一般	8	3	4	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画
基本施策	20	公園の充実	根拠法令	都市公園法、旭市立公園条例					☒ 新市建設計画
施策の展開	37	公園の維持管理	戦略事業	179	公園維持管理				☐ 定住自立圏構想
施策の展開			戦略事業	180	市民参加による公園の美化活動の促進				☒ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない								
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	公園の維持管理及び苦情処理。施設の新設などの工事を行う。 【公園の種類・箇所数】①袋公園・旭スポーツの森公園・旭文化の杜公園などの都市公園(10箇所)、②海上コミュニティ運動公園・三川ふれあい公園・万歳自然公園などのその他の公園(7箇所)、③宅地開発の際に帰属された公園(通称:宅造公園)43箇所、④海岸トイレ(3箇所) 【維持管理業務内容】①公園内の清掃、除草、樹木の管理(剪定・施肥・薬剤散布)、芝生の管理(芝刈・施肥・薬剤散布)を行う、②遊具・トイレなど施設の点検、補修、改修、修繕を行う、③公園利用者及び周辺住民から寄せられる要望・苦情等への対応・処理を行う。 【公園施設】トイレ、四阿、ベンチ、照明、遊具、案内看板等								
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化				⑤ 事務事業に対する住民からの意見等				
・公園の開設に伴い、維持管理を開始。	・近年、労務単価および資材単価の高騰により維持管理費が増えている。 ・公園施設の老朽化に伴って修理が必要な施設が増えている。 ・公園維持管理に対する利用者の要求水準が増大している。				公園利用者から主に下記の意見や要望が寄せられている。 ・遊具・施設の充実 ・除草・清掃作業の実施 ・樹木の害虫駆除 ・利用禁止及び制限の緩和(スケボーなど)				

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)		単位:千円	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
1.委託料	52,394	公園維持管理・施設点検・浄化槽管理・公園清掃など	千円	38,846	41,512	54,595	52,394	55,359
2.需用費	16,032	公園施設修繕・光熱水費・消耗品費など	千円	20,476	20,022	21,228	16,032	14,865
3.使用料及び賃借料	9,521	土地借上料・遊具賃借料・下水道使用料・農業集落排水使用料など	千円	9,134	9,578	9,625	9,521	9,437
4.工事請負費	13,195	公園施設新設工事・改修工事	千円	4,358	27,822	19,928	13,195	5,326
5.その他	1,199	手数料・保険料・原材料	千円	1,827	882	830	1,199	1,244
② 特定財源の内訳(27年度の決算)		単位:千円	事業費計(A)					
1.国庫支出金	0		千円	74,640	99,816	106,206	92,341	86,231
2.都道府県支出金	0		千円	0	10,000	0	0	0
3.地方債	0		千円	0	0	0	0	0
4.その他	183	公園占用料・行政財産使用料・公園内行為使用料	千円	49	6,622	229	183	42
			千円	74,591	73,194	105,977	92,158	86,189

前年度増減理由	修繕を必要とする施設の破損が前年度よりも少なかったことで、修繕費が削減されたため。また公園施設の新設改修工事が前年度よりも減ったため。
---------	---

従事職員数	常時	2人	最大	0人	×	0日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	----	---	----	---	----	----

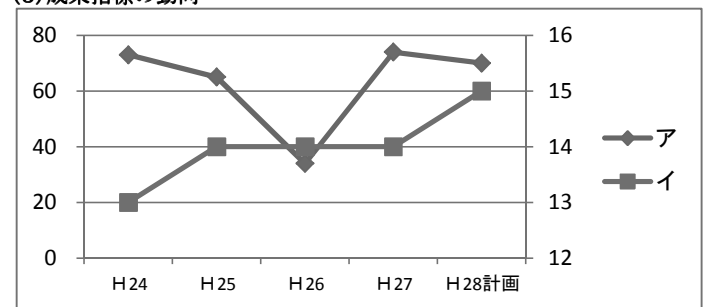
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動) ・公園の維持管理(清掃・除草・樹木管理・芝生管理・施設点検・施設修繕) ・公園施設等設置工事		ア 施設数(都市公園・その他の公園)	箇所	17	17	17	17	17
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	イ 施設数(宅造公園)	箇所	41	43	43	43	43
	対象意図 ・都市公園 10箇所 ・その他の公園 7箇所 ・宅造公園 43箇所 ・海岸トイレ 3箇所 ・利用者が安全で快適に利用できる		④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
対象意図	対象意図	⇒	ア 公園管理に対する苦情件数	件	73	65	34	74	70
	対象意図		イ 公園の美化活動を行う団体数	団体	13	14	14	14	15

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果			② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	成果向上余地	かひりある ある程度 ほとんどない	評価結果	コスト比率		
				下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
大きい	①		①			(6)
普通			②			
			③			
			④⑤			
			⑥			
小さい			⑦⑧			
			⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難								
【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)									
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	比較	23年度 24年度	24年度 25年度
【コメント】 (低下の場合、その理由)	指標(A)は、公園施設へのいたずらが頻発したり、利用者から樹木の剪定要望などが多く寄せられた結果、平成24年度の水準まで苦情件数が増加してしまった。 指標(I)については事務事業期間を通じて同数であるため成果は横ばいである。		数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	成果動向	25年度 26年度	26年度 27年度
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他 ()	公園の維持管理を引き続き行っていく。		
	平成28年10月	環境課に公園の美化活動を行っている団体等の実態を照会し、新たに美化活動に取り組んでいただく市民や団体、又は活動回数を増やすことを検討する。							